

みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第22号 平成18年6月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



山県北野 三輪北小学校 『田んぼの学校』

(5月29日、6月12日)

- ・みんなで入ろう！！田んぼの中へ
- ・さあ、田植えをはじめろぞ！！

みんなで入ろう！！田んぼの中へ

三輪北小学校では、岐阜県農林事務所、自治会連合会、青少年育成市民会議などの協力のもと、『田んぼの学校』と題した環境学習に取り組んでいます。この取り組みは、地域の方と一緒に稲作を体験し、自然と親しむとともに、地域の農業や文化、先人の知恵の素晴らしさを知ることが目的としています。

低学年は代掻きも兼ねたどろんこ遊びや生きもの観察、高学年は田植えや稲刈りを行ないます。

また、どろんこ田と名づけられた水田の横には水田を改修したビオトープも創られており、メダカやフナ、ヤゴといった生きものが観察できるようになっています。



ここが「田んぼの学校」です。



みんなでビオトープを観察します。

さあ！みんなで田んぼに入るぞ！！



地域の皆さんの協力があればこそ『田んぼの学校』は実施できるのです！

さあ、田植えをはじめろぞ！！

3年生から6年生は田植えを行いました。植える稲は、「もち米」です。今までに2回の田植えを経験している6年生を先頭に、手分けして田んぼ全体の田植えを行いました。はじめは泥の感触におっかなびっくりの子供たちも、すぐに楽しそうな歓声を上げながら作業に熱中する姿が見られました。このような子どもたちの笑顔を見ることができるのも、学校と地域が一つになってこの『田んぼの学校』に取り組んでいるおかげだと思います。この秋には、収穫したもち米を使って、盛大な餅つきが行なわれるそうです。



子どもたちの田植えの後は、先生や地域の皆さんとで手分けして、出来を確認していきます。



おわりに

地域と学校が連携して行なう三輪北小学校の『田んぼの学校』の取り組みは「自然ふれあい地域ビジョン」の理想的なモデルケースであり、私たちはここから多くのことを学ばねばならないと思います。明確な方針を打ち出す学校

とそれを受け止め行動する地域、そして行政の適切な支援。そこへ行き着くためには様々な課題があると思いますが、課題を乗り越え岐阜市の自然を守り育てるため、皆様ご協力よろしく願いいたします。



田植えが終わった子ども達は水路に入って泥を流しました。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html